

令和5年度 宇和島市地域づくり団体活動補助金

-事例集-

1. 補助金交付件数（全体）
2. 補助金交付件数（分野別）
3. 補助金交付件数（補助率別）
4. 事例紹介

令和5年度補助金交付件数

No.	団体名（市登録NPO団体）	事業名	事業区分	補助率
01	NPOナナの森	皮むき間伐体験	地域環境の保全	一般事業（2/3）
02	みまプロジェクト	みまプロジェクト	地域コミュニティの活性化	開設・拡大事業（3/4）
03	一般社団法人愛媛県薬剤師会宇和島支部	第11回宇和島薬剤師会市民公開講座	地域の安全・安心	一般事業（2/3）
04	蔣淵の福祉を推進する会	蔣淵の福祉を推進する会	地域コミュニティの活性化	開設・拡大事業（3/4）
05	カウンセリング・アート鼓舞	輪太鼓オープニング演奏inうわじま	高齢者福祉・生活支援	開設・拡大事業（3/4）
06	なんよTAC	横吹溪谷再生プロジェクト	地域環境の保全	開設・拡大事業（3/4）
07	なんよエリア視覚障がい者協議会	バリアフリー演芸ライブ	高齢者福祉・生活支援	開設・拡大事業（3/4）
08	宇和島カエルキャラバン協議会	宇和島でカエルキャラバンを開こう！ Step 1	地域の安全・安心	開設・拡大事業（3/4）
09	浦知地区活性化協議会	わくわくサポート津島2023	地域コミュニティの活性化	特認事業（10/10）
10	うわじま虹色ツーリズム	虹色さくらまつり	地域コミュニティの活性化	一般事業（2/3）
11	おてんとさまのした	里山共同保育	地域コミュニティの活性化	一般事業（2/3）
12	てくてく	子ども食堂でフィッシュボーイのお魚解体プロジェクト	青少年の健全育成・子育て支援	開設・拡大事業（3/4）
13	うわじま文化会議	第2回アートフェア2023うわじま	地域コミュニティの活性化	一般事業（2/3）
14	NPO法人スペースゆうともの会	みんなのカフェ	高齢者福祉・生活支援	一般活動（2/3）
15	宇和島海の守り人プロジェクト実行委員会	宇和島海の守り人プロジェクト	地域環境の保全	特認事業（10/10）
16	100万人の線香花火ナイトin宇和島実行委員会	100万人の線香花火ナイトin宇和島	その他	特認事業（10/10）

令和5年度補助金交付件数

No.	団体名（市登録NPO団体）	事業名	事業区分	補助率
17	BOUSAIゼミな～る実行委員会	BOUSAIゼミな～る第4クール（100年防災の伝承）	青少年の健全育成・子育て支援	開設・拡大事業（3/4）
18	特定非営利活動法人U.grandma Japan	ぱくパーク	そのほか	一般事業（2/3）
19	特定非営利活動法人宇和島NPOセンター	第2回NPOまつり	地域コミュニティの活性化	特認事業（10/10）
20	宇和島市子ども食堂連絡協議会	フードドライブ事業	地域環境の保全	一般事業（2/3）
21	NPO法人奥南でざいんセンター	青空クッキングパエリアづくり	青少年の健全育成・子育て支援	開設・拡大事業（3/4）

事業名：皮むき間伐体験

■ 事業概要

【事業目的】

愛媛の森林の豊かさや間伐の必要性を、宇和島市の小学生が体験的に学ぶ機会を創出する。

子ども・保護者・指導者が森林の価値を共有するとともに、地域資源を守る担い手意識を育む。

■ 事業期間・総事業費・補助金等

【事業期間】

令和5年7月1日～令和5年9月30日

【総事業費】

102,000円

【補助金交付決定額】

42,000円

【補助率】

一般事業（2/3）

■ 事業内容・成果

【取組内容】

えひめ（うわじま圏域）子ども観光大使の児童18名、引率教諭1名、保護者10名の計29名が参加し、「日本の森と世界の森」の現状について学んだ。

また、要間伐森林で皮むき間伐を体験し、昨年度までに皮むき間伐をした木材を使用した認定証を参加児童へ贈呈した。

【成果】

木材のありがたさや、森林を守るための間伐の意味を学ぶ機会となり、参加した子ども達からは、「また森に行きたい」との声が聞かれ、地域の自然への関心と愛着の醸成へとつながった。



団体名・連絡先

【団体名】

NPOナナの森

【団体連絡先】

(mail) 7nananomori@gmail.com (電話番号) 090-2386-9294

事業名：みまプロジェクト

■事業概要

【事業目的】

三間エリアの若手人材流出や担い手不足という課題に対し、地域住民・高校生・大学生・関係人口がともに関わる場をつくり、継続的な実践を通じて、地域資源を活かした基盤を整えることで、三間地域の活性化を目指す。

■事業期間・総事業費・補助金等

【事業期間】

令和5年7月1日～令和6年3月31日

【総事業費】

763,982円

【補助金交付決定額】

500,000円

【補助率】

開設・拡大事業（3/4）※上限500,000円

■事業内容・成果

【取組内容】

- ①拠点形成プログラム 参加者のべ75人
田園風景、JR宮野下駅、二名駅、毛利家周辺資源の視認。「三間の里山拠点」を構築

【取組内容】

- ②関係人口創出プログラム 参加者のべ54人
名城大学建築学生や三間分校生徒を中心に実施。高校生 x 大学生 x 地域の関係構築

【取組内容】

- ③観光プログラム 参加者のべ54人
三間分校の『みまライスバーガー』を、地域の観光資源として活用する運営体制確立に向け協議し、地域イベントマルシェに出店。「高校生対象三間まちあるき」の運営体制・ルート等のツアープログラムを協議

【成果】

岡本邸や長屋門、竹林等をコミュニティスペースとして活用し、拠点の可視化とロゴ製作につながった。

また、様々な取組みを通じて、世代や立場を超えた連携が進み、観光資源や次年度以降の新たな展開に向けての手応えが得られた。

団体名・連絡先

【団体名】

みまプロジェクト

【団体連絡先】

(mail) 非公開

(電話番号) 非公開

事業名：蔣淵の福祉を推進する会**■事業概要****【事業目的】**

旧保育所を、誰もが使える地域のコミュニティスペースとして再生する。

平時の交流の場、緊急時の避難所、将来的には福祉活動の拠点として活用し、地域で支えあうことができる基盤づくりを進める。

■事業期間・総事業費・補助金等**【事業期間】**

令和5年7月1日～令和6年3月31日

【総事業費】

503,484円

【補助金交付決定額】

375,000円

【補助率】

開設・拡大事業（3/4）

■事業内容・成果**【取組内容】**

蔣淵地区社会福祉協議会と協働して「サロンちぎり」のメンバーと蔣淵カフェ（こもカフェ）を5度開催した。

- ・7月9日 こもカフェ コーヒー・カラオケ 9名
- ・10月2日 こもカフェ コーヒー・パン販売 20名
- ・10月15日 青空市 こもカフェ・ぶり丼提供 30名
- ・2月26日 こもカフェ コーヒー・パン販売
- ・映画会「ポケますからよろしくお願いします」20名
- ・3月9日 街角カフェ 春の和菓子づくり 17名参加

【成果】

回数を重ねるごとに蔣淵カフェ（こもカフェ）が地域へ浸透し、誰でも参加できる居場所としての活用が進んだ。

また、活動を通じて地域住民同士のつながりが深まり、旧保育所を地域と福祉の連携拠点として育てていく土台の形成につながった。

団体名・連絡先**【団体名】**

蔣淵の福祉を推進する会

【団体連絡先】

(mail) como3914@gmail.com （電話番号）090-8571-4248

事業名：輪太鼓オープニング演奏inうわじま

■ 事業目的

【事業目的】

障がいのある人たちが地域で行う和太鼓演奏を通じて、発表と交流の機会を広げる。

また、地域住民と喜びや達成感を分かち合いながら、社会参加と相互理解を深め、浸透できる関係性を構築する。

■ 事業期間・総事業費・補助金等

【事業期間】

令和5年8月1日～令和6年3月30日

【総事業費】

129,267円

【補助金交付決定額】

90,000円

【補助率】

開設・拡大事業（3/4）

■ 事業内容・成果

【取組内容】

- (1) 天神ふれあい夏祭り(8.20)…天神公民館主催のイベント
観客120名の中、夏祭りオープニングでの幕開けを力強く行った。
- (2) 天神校区敬老慰安会(9.10)…式典アトラクション
パフィオうわじままでのステージで80名ほどの観客を前に思いを込めて演奏した。
- (3) こども食堂とのコラボ(9.23)…吉田公民館で吉田いぬび食堂
オープニング輪太鼓演奏と地元小児童（午前）中学生（午後）との体験学習を行った。
50名観客に好評。
- (4) 神戸視察研修(9.27～28)…神戸大学津田英二研究室訪問をして津田氏との対談が実現、
西日本地域での文化活動や自分たちの特色について有意義な意見交換を行った。
- (5) NPOまつり(12.10)きさいやロードにてオープニング輪太鼓演奏を100名を前に行った。
- (6) 福祉祭(3.17)…宇和島市総合福祉センターでの舞台演奏では、観客と共に楽しめる演奏
を行い、乳児をおぶるお母さんから子ども、年配の男性まで20名ほど100名を前に披露。

【成果】

出演者にとっては、自己表現と社会参加の機会につながり、観客との交流を通じて相互理解が深まる場となった。

また、見学者や参加者にとっても、障害のある人との出会いが協力と地域交流の第一歩へとつながる機会が生まれた。

団体名・連絡先

【団体名】

カウンセリング・アート鼓舞

【団体連絡先】

(mail) ijyamt5202@gmail.com （電話番号）090-2475-7193

事業名：横吹溪谷再生プロジェクト

■ 事業目的

【事業目的】

横吹溪谷の自然や景観に光を当て、地域に愛される場所として再生する。

また、体験型の取り組みを通じて、地域住民や来訪者が自然の保全と利活用の両方に関わることができる関係性の構築を進める。

■ 事業期間・総事業費・補助金等

【事業期間】

令和5年7月1日～令和6年2月28日

【総事業費】

354,784円

【補助金交付決定額】

260,000円

【補助率】

開設・拡大活動（3/4）

■ 事業内容・成果

【取組内容】

- 1) 「横吹溪谷アドベンチャー」の実施
・中学生、高校生を対象に1.5kmの沢登り（クリーン活動含む）
- 2) 「横吹溪谷で遊ぼう！」の実施
・小中学生と保護者を対象に溪谷遊び&自然観察会（クリーン活動含む）
- 3) 「横吹溪谷エリアの暮らしと自然を体験！～ぐるっと"みまき"めぐり～」
横吹溪谷を散策したあと上流の御槇地区を訪ねて、横吹溪谷エリアを体感する2日間のツアーを開催。

【成果】

参加者が、横吹溪谷の魅力やならでの自然の面白さを実感することができ、環境保全への関心を高めることにつながった。

あわせて、専門家や地域住民も交えて、溪谷周辺の歴史・暮らしを学ぶことで、地域資源を活かした活用と環境保全について、参加者一人ひとりが学ぶ場となった。



団体名・連絡先

【団体名】

なんよTAC

【団体連絡先】

(mail) tsutakko@hotmail.com （電話番号） 090-8691-7489

事業名：バリアフリー演芸ライブ

■ 事業目的

【事業目的】

障がいの有無にかかわらず楽しめるイベントを通じて、障がい者が地域コミュニティに参加する機会を広げる。

あわせて、ガイドヘルパーの養成を推進することで、地域で支える福祉の担い手づくりと基盤強化につなげる。

■ 事業期間・総事業費・補助金等

【事業期間】

令和5年7月3日～令和5年11月22日

【総事業費】

500,448円

【補助金交付決定額】

375,000円

【補助率】

開設・拡大活動（3/4）

■ 事業内容・成果

【取組内容】

視覚障がいのある落語家・講談家（半丸亭寿近）によるバリアフリー演芸ライブを開催し、約120人が来場した。

運営には、22名のボランティアが参加し、受付やトイレ等にはナビレンスタグを設置し、車椅子利用者も来場しやすい環境を整えた。

あわせて、ガイドヘルパー養成講座を、開催したところ12名が受講した。

【成果】

障がいの有無を超えて笑いと感動を共有でき、参加者がともに楽しめる地域交流の場となった。また、他のNPO団体とのつながりや支援者の人材育成が進むことで今後の障がい福祉の向上につながる一歩となった。



団体名・連絡先

【団体名】

なんよエリア視覚障がい者協会

【団体連絡先】

(mail) rakusa0411@gmail.com (電話番号) 090-9550-2519

事業名：宇和島でカエルキャラバンを開こう！Step1

■事業目的

【事業目的】

楽しみながら防災を学ぶことができる「イザ！カエルキャラバン！」の実現に向け、宇和島市での開催基盤を整える。

市民の防災力向上と参加者同士のつながりづくりを通じて、市民の防災力向上とコミュニティづくりを促進し、様々な災害への備えとすることを目的とする。

■事業期間・総事業費・補助金等

【事業期間】

令和5年7月19日～令和6年2月24日

【総事業費】

172,392円

【補助金交付決定額】

129,000円

【補助率】

開設・拡大活動（3/4）

■事業内容・成果

【取組内容】

- (1) カエルキャラバンの開催ノウハウを学ぶ研集会への参加
(令和5年夏、兵庫県で実施)
- (2) 宇和島市PTA連合会主催の防災キャンプに参加
- (3) 特定非営利活動法人宇和島NPOセンター主催「NPOまつり」に出展
- (4) 特定非営利活動法人宇和島NPOセンター主催の「うわじま防災BOX」に出展
- (5) 愛南町で開催された防災訓練に参加

【成果】

イベント運営のポイントや楽しく学べる防災手法への理解が深められた。
また、子どもから大人までの参加者が意欲的に取り組むことで、防災知識をジブンゴトとして学ぶ場となった。



団体名・連絡先

【団体名】

うわじまカエルキャラバン協議会

【団体連絡先】

(mail) kanasandomuuano@gmail.com (電話番号) 080-5660-4944

事業名：わくわくサポート津島2023

■事業目的

【事業目的】

廃校の旧浦知小学校を主な拠点として、地域住民とボランティア団体、社会福祉法人、医療従事者、民間事業者など多様な主体が協働で行うイベントを年間で複数実施することで、「顔の見える関係」作り、地域と官民の連携体制の強化を図る。

多様な主体で「何が出来るか」の相互理解を深め、人口減少や高齢化により起こっている津島圏域の社会問題（買物弱者、移動困難、デジタルデバイド、孤独・孤立）を地域で解決する土壌づくりにつなげようとするもの。

■事業期間・総事業費・補助金等

【事業期間】

令和5年8月27日～令和6年3月31日

【総事業費】

584,500円

【補助金交付決定額】

500,000円

【補助率】

特認活動（10/10）※上限500,000円

■事業内容・成果

【取組内容】

- (1) スマホ教室 9/13・12/13・2/3の3回開催で延べ29名の参加者。
- (2) 夏の外あそびに代えての「URASHIRIきっずらんど」では地元は元より旧市内、鬼北町などからも延べ60名を超える子どもが参加。屋内/グランド他で生き生きとした表情で職業体験を行った。
- (3) 買物行こカー 11/19大洲方面17名・R6.3/20四万十方面16名参加：毎回、参加者には好評で「次の開催を心待ちにしています」とお礼の言葉を頂く。
- (4) プチマルシェは告知不足な面もあり来客の出足は少なかったものの、50名を超える来場者にはキッチンカーやティラノサウルスの着ぐるみレース等で満足して頂いた。
・ふれあいモーニング付帯事業は血圧測定等、地域の常連さんとの接点が増える事で、11月後半からの「高血圧改善事業」の下地としての役割も果たした。
- (5) 独居高齢者戸別訪問・鉢植え植物の配布では、民生委員の協力もあり、16名分の花苗プランターを届けて、今後の声掛けのきっかけ作りに一役買った。

【成果】

地域住民や多様な団体との協働による小さな成功事例を増やすことで、津島圏域の社会問題（買物弱者、移動困難、デジタルデバイド、孤独・孤立）を地域で解決する土壌づくりにつなげようとする当初の目的に沿った活動が出来た。



団体名・連絡先

【団体名】

浦知地区活性化協議会

【団体連絡先】

(mail) 非公開

(電話番号) 0895-35-0090

事業名：虹色さくらまつり

■事業目的

【事業目的】

『宇和島を元気にしたい』の目標の下、桜の開花に合わせ、広く宇和島の桜の啓発と一般市民に春の到来を告げ元気になってもらうことを目的とする。また、会場周辺の草刈りを行うことで環境美化にも繋がる。

■事業内容・成果

【取組内容】

桜観測員による丸山の桜の観測と「虹色さくらまつり」を丸山公園で開催することにより、宇和島市の早咲きの桜のPRと賑わいづくりに寄与する予定であったが、雨天のためメイン事業である「虹色さくらまつり」は中止とした。

しかし、気持ちよく来場いただくため、事前に会場周りの草刈りを行ったため、丸山公園周辺の環境美化に貢献。桜の季節の間、丸山公園を気持ちよく散策していただくことが出来た。

【成果】

周辺を散策する方々や同敷地内を使用する団体からも綺麗になったことでお褒めの言葉をいただき喜んでいただいた。



■事業期間・総事業費・補助金等

【事業期間】

令和6年3月24日～令和6年3月31日

【総事業費】

181,568円

【補助金交付決定額】

121,000円

【補助率】

一般事業 (2/3)

団体名・連絡先

【団体名】

うわじま虹色ツーリズム

【団体連絡先】

(mail) uwajima.yumin@gmail.com (電話番号) 090-3785-0465

事業名：里山共同保育

■事業目的

【事業目的】

- 1 耕作放棄地の整備・活用
 - 2 農作業や共同保育を通じた学びの活動を行うことにより、暮らしのあらゆる場面で助け合える共同体をつくる。
 - 3 伝統や文化を次世代へ引き継いでいく。
- 以上を目的とし活動をする。

■事業期間・総事業費・補助金等

【事業期間】

令和5年7月5日～令和6年3月31日

【総事業費】

60,118円

【補助金交付決定額】

35,000円

【補助率】

一般事業 (2/3)

■事業内容・成果

【取組内容】

年間を通して継続的に活動を行う。

- 1 地域の耕作放棄地を活動の拠点とし、畑や田んぼの共同作業を行う。
- 2 子どもも共に活動し、様々な家庭の子どもたちを大人全員で見守る共同保育を行う。
- 3 農作業、屋内外あそび、食事づくり、暮らしの中の作業を通して、日本や地域の歴史・伝統・自然・食などを学ぶ。

【成果】

耕作放棄地であった約3反の田んぼは、お米作りの活動を始めて今年で3年が経過した。参加者が共同で耕作や周辺環境整備を行い、今年も土地の管理を継続することができた。9ヶ月間の継続した作業を共同で行い、延べ92人の参加者が集まった。親たちは全ての家庭の子どもたちを分け隔てなく見守りながら、子ども同士で遊び成長していく場を持つことができた。

屋外で薪火をおこしご飯を炊きカレーを食べたり、お弁当を分け合って食べる昼食が定着し、参加者みんなで食事を囲む楽しさや嬉しさ、豊かさを共有する場となり、日々の子育てや暮らしへの思いを共有し合うことができるコミュニティの繋がりが深まった。



団体名・連絡先

【団体名】

おてんとうさまのした

【団体連絡先】

(mail) otentosamanoshita@gmail.com (電話番号) 090-2386-9294

事業名：子ども食堂でフィッシュボーイのお魚解体プロジェクト

■ 事業目的

【事業目的】

少子高齢化にともない地域の婦人会や子ども会なども減少や解散というように人と人の繋がりが薄れ、近所の人と関わりたいのに関われない人などさまざまな理由で近所同士や地域の人たちとの関わりが希薄になっています。それをマグロの解体ショーや真鯛さばき体験で、お年寄りから子どもまでワクワクするイベントと「食」を通して、地域団結が出来ればと思います。そして、宇和島市内の高校生がマグロを捌く姿に尊敬を感じ、フィッシュボーイにも興味を持ってもらえる機会が出来ればと思います。

そして、コロナでの経済状況の悪化により、マグロも高騰し、練習ができない状況が続いております。フィッシュボーイの活動も支援できるイベントとなればと思っております。

■ 事業期間・総事業費・補助金等

【事業期間】

令和5年7月25日～令和6年1月20日

【総事業費】

672,043円

【補助金交付決定額】

500,000円

【補助率】

開設・拡大活動（3/4）※上限500,000円

■ 事業内容・成果

【取組内容】

フィッシュガールによるマグロ解体ショーを行った。1月には下灘公民館では、水産高校1年生のフィッシュボーイとフィッシュガールによる宇和島産のブランド養殖真鯛を小学生にさばき方を教える、『さばき教室』を開催する事ができました。

【成果】

子ども達は、自分の身体よりも大きな伊達マグロを見て、手で触れ、宇和島水産高校のフィッシュガールによるマグロの解体ショーに目を輝かせて見入っていました。宇和島水産高校の生徒さんや地元の学生ボランティアさん達が手伝ってくれるイベントでは、自分達が運営するというこの経験は、社会にでた時に活かせるでしょう。そして、「子ども達に任せ」「子ども達に頼る」ことにより、子ども達のイベントでの役割をみつけ、それが学生ボランティアの子ども達の居場所となっています。食育を通して、地域の人や年下の子ども達との繋がりも深くなりました。いつもは食べない魚を積極的に食べ、地域のコミュニティの繋がりもできた。



団体名・連絡先

【団体名】

てくてく

【団体連絡先】

(mail) 非公開

(電話番号) 090-7577-4141

事業名：第2回アートフェア2023うわじま

■事業目的

【事業目的】

南予地域で活動する作家や国内外で活躍する作家の作品を展示することで、地元作家を広く知ってもらい機会を創出し、直接アートに触れる場を提供することで、南予地域の発展と活性化を目指す。

■事業期間・総事業費・補助金等

【事業期間】

令和5年7月11日～令和5年8月31日

【総事業費】

275,028円

【補助金交付決定額】

183,000円

【補助率】

一般事業 (2/3)

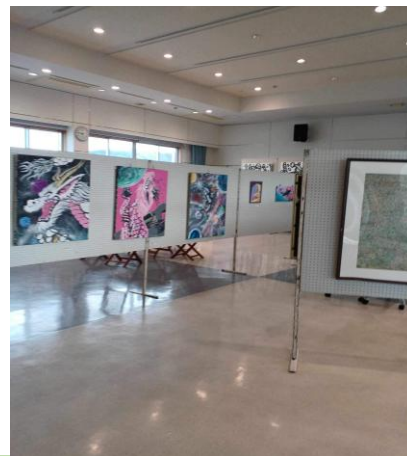
■事業内容・成果

【取組内容】

7月12日(水)～7月16日(日)、きさいや広場市民ギャラリーにて『アートフェアうわじま2023』を開催した。南予地域で活動している作家及び国内外で活動する作家の作品を一堂に展示したほか、親子を対象とした絵画を描くワークショップ、作家によるライブペイント、ステージでの音楽ライブを実施した。

【成果】

5日間の来場者は150名程度。「観る・描く・聴く」ことを体験することでアートをより身近に感じる機会を提供できた。今回のアートフェアを通して、心豊かな街造りと地域の活性化を構築することに寄与できた。



団体名・連絡先

【団体名】

うわじま文化会議

【団体連絡先】

(mail) 非公開

(電話番号) 0895-22-3817

事業名：みんなのカフェ

■ 事業目的

【事業目的】

お年寄りから障がいを抱える人々までだれでもが集える居場所づくりを通じて商店街の活性化を目指す。

■ 事業期間・総事業費・補助金等

【事業期間】

令和5年8月1日～令和6年3月31日

【総事業費】

461,135円

【補助金交付決定額】

293,000円

【補助率】

一般事業 (2/3)

■ 事業内容・成果

【取組内容】

10年余継続して通年、商店街の真ん中でWIFI可、持ち込み自由のコミュニティカフェの運営を行っている。モーニングセット、玄米ランチ、おにぎりの提供をしている。

多様な企画の発信点として貸スペースが活用されている。
管楽器、コーラス、3B体操、フラダンス、さんさ踊り、三味線など。

【成果】

月間約300名。行き場所の乏しいお年寄りや障がい者の固定客が増えて確実に商店街の居場所として定着しつつある。

みんなの居場所して喜び感動してもらっている。リピーターも多い。



団体名・連絡先

【団体名】

NPO法人スペースゆうともの会

【団体連絡先】

(mail) como3914@gmail.com

(電話番号) 090-8571-4248

事業名：宇和島海の守り人プロジェクト

■ 事業目的

【事業目的】

宇和島の海洋環境と景観を守りたい団体や個人・宇和島市が協働し、海の恩恵に感謝する日「海の日」に向けて海ごみを清掃回収することで、海洋・海岸線等の環境保全に寄与することを目的とします。

■ 事業期間・総事業費・補助金等

【事業期間】

令和5年7月1日～令和5年7月31日

【総事業費】

500,463円

【補助金交付決定額】

499,000円

【補助率】

特認事業 (10/10)

■ 事業内容・成果

【取組内容】

○海ゴミ削減プロジェクトin小池 主催:宇和海区漁業幹部協議会 日時:7月8日
場所:旧小池小学校前海岸 参加者:100名 当日は、保育園児による「海ダンス」のお披露目を行い、会場は盛り上がった。その後マイクロプラスチック回収を主に行うと同時に100本の発泡スチロールフロートならびに硬質プラスチックの減容を行い、フレコンバッグ7個に収納した。

○ブルーサンタ2023 主催:Clean the coast 日時:7月15日
場所:吉田町先新浜海岸、近家海岸 参加者:60名 2ヶ所の海岸にて各30名のボランティアが各会場 可燃ごみ40袋 不燃ごみ5袋 その他を回収(310kg)。その後は、キッチンカーや地元自治会の方によるカレーの提供があり、参加者は楽しく清掃活動ができた。

○愛媛県漁協宇和島管内一斉清掃 主催:愛媛県漁協宇和島支所 日時:7月17日
場所:宇和島支所管内 参加者:漁協関係者・宇和島水産高校100名 回収ごみ:発泡フロート100本、一般ごみ50袋

○水産多面的機能発揮対策事業 主催:愛媛県漁協下波支所 日時:7月21日
場所:宇和島市下波湾内 参加者:35名 回収ごみ:100kg



団体名・連絡先

【団体名】

宇和島海の守り人プロジェクト実行委員会

【団体連絡先】

(mail) westbook@mai13.netwave.or.jp (電話番号) 090-4339-3136

事業名：100万人の線香花火ナイトin宇和島実行委員会

■ 事業目的

【事業目的】

東日本大震災のあった2011年から岩手県の特定非営利活動法人RAY of HOPEが始めた活動で、全国各地で一斉に線香花火を灯すことで亡くなった人々を偲び、この活動を共有することにより交流のない地域との繋がりを強めるとともに語り継いでいく活動です。

また、本活動を継続することによって災害を風化させないだけではなく、これを機会に防災への意識を高めてもらい、平時から周辺地域や市内の様々な団体、個人に繋がりの重要性を理解してもらおうよう働きかけ、繋がりを持つことにより、安心できる地域づくりに貢献することを目的としています。

■ 事業期間・総事業費・補助金等

【事業期間】

令和5年7月1日～令和6年3月31日

【総事業費】

301,808円

【補助金交付決定額】

300,000円

【補助率】

特認事業 (10/10)

■ 事業内容・成果

【取組内容】

2023.7.7, 2023.8.11, 2024.3.11の3回実施

竹灯籠で今年度のテーマ「絆」の文字を表し、ペットボトル灯籠を並べて、天の川や星形などを実行委員会のメンバーや高校生を含むボランティアさんたちと作り伊達広場いっばいに準備した。岩手県陸前高田市より分灯されたその火で参加者の方々が約400個の灯籠に火を灯し、その火でたくさんの線香花火を灯すことができた。

全国の皆さんとYouTubeのLIVE中継で繋がりながら、一斉に同時刻に黙祷した後、会場の皆さんと灯籠に火を灯し、その灯に癒されながら笑顔で亡くなった大切な人や今いる家族への感謝の想いを馳せていた。

【成果】

地域の10以上の団体との新たな出会いやさらなる関係性のきっかけが作られたこと。また、多くの新たな協力者たちと線香花火ナイトの想いが伝えられ、一緒に実施できたこと。



団体名・連絡先

【団体名】

100万人の線香花火ナイトin宇和島実行委員会

【団体連絡先】

(mail) rieori3027174@e-jyakoten.co.jp (電話番号) 090-7623-3773

事業名：BOUSAIゼミな～る第4クール（100年防災の伝承）

■事業目的

【事業目的】

「BOUSAIゼミな～る」は「大規模災害」という事象で繋がった多地域の高校生が、次のXデーに向けて作っておかないといけない地域社会を目指して地域とは・命とは・つながりとは、について話し合い考える事を目的とし、2020年11月～開催してきた。多地域連携を通じて「被災地」の教訓を「未災地」に繋げ、災害からの復興を考える活動を通じて、大人（保護者）も含め災害レジリエンスの社会的構築を目指す。

■事業期間・総事業費・補助金等

【事業期間】

令和5年7月12日～令和6年3月10日

【総事業費】

477,023円

【補助金交付決定額】

356,000円

【補助率】

開設・拡大活動（3/4）

■事業内容・成果

【取組内容】

9月18日横浜国立大学で『ぼうさいこくたい2023』に出展し、各学校が各県で関東大震災当時の新聞記事を集めどのように書かれていたかをディスカッションした。参加校：愛媛県立宇和島南中等教育学校、灘高等学校、神戸常盤女子高等学校、愛媛県立八幡浜高等学校、福島県立福島高等学校、愛知県立大府高等学校が参加した。

その後はオンラインで学校間で協力している防災活動と今、高校生にできる災害支援についてディスカッションした。それぞれの学校の取り組みは大変すばらしく、大人も勉強になった。毎回約30名ほどが参加し、ぼうさいこくたいでは県外から約20名の来場者が訪れ、BOUSAIゼミな～る定例会も含め年間約250名の参加であった。

【成果】

現地でリアルに各学校の生徒が交流し、先生方も交流でき更に繋がりを強固にすることができた。



団体名・連絡先

【団体名】

BOUSAIゼミな～る実行委員会

【団体連絡先】

(mail) rieori3027174@jyakoten.co.jp（電話番号）090-7623-3773

事業名：ぱくパーク

■ 事業目的

【事業目的】

災害が全国で多発し「災害時」に備えた防災・減災では追いつかなくなっている。

東北視察、防災講座、市民協働・官民連携の講座を始め、まちづくりに関する講座も修了している「うわじま女性防災リーダー育成プロジェクト（以下UJBL）」メンバー（行政・企業・NPOほか多様なメンバーが在籍）を企画リーダーとした、フェーズフリーを学べるイベントを開催し、特別に準備するものでもなくとも、日頃のコミュニティや工夫次第で平時のものが災害時にも有効であると気づく。市民を巻き込んだ協働と地域コミュニティづくりで「すべての人が住みやすい宇和島市」をつくる。

■ 事業期間・総事業費・補助金等

【事業期間】

令和5年8月29日～令和5年10月31日

【総事業費】

860,405円

【補助金交付決定額】

500,000円

【補助率】

一般事業（2/3）※上限500,000円

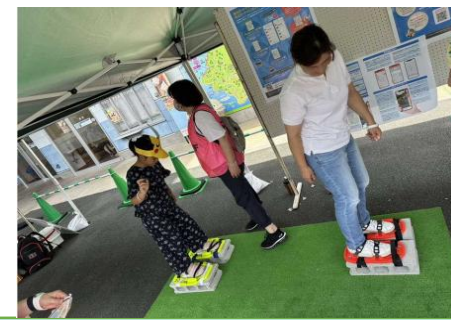
■ 事業内容・成果

【取組内容】

令和5年9月9日(土)10:00-15:00に、きさいや広場にてフェーズフリーイベント「ぱくパーク」を開催。イベント当日来場者700名以上（推定）。いつものイベント企画が災害時にも役立つ、というフェーズフリーのコンセプトのもと、受付の列づくりからの動線や、救護班と合わせた救急車スペースと車両誘導想定、授乳室の作り方など女性目線を活かした会場配置を計画した。市内団体をはじめ行政、社協、県外団体とが連携していくことで、協働やフェーズフリーを学ぶきっかけづくりとなった。イベント用に企画した「歩きにくさ体験」「車椅子体験」などは貸し出しできるようキット化、市内団体、南海放送主催防災イベント、県内NGOイベントにて活用予定。愛媛県河川課流域治水キットや、県外の団体と連携したキットも計画中、宇和島発のフェーズフリーパッケージとして全国へ啓発していく。

【成果】

今回の活動を通して繋がった団体間で、大規模災害時を想定した県外とのネットワーク、NPO同士の協定等に発展する見込み。



団体名・連絡先

【団体名】

特定非営利活動法人U.grandma Japan

【団体連絡先】

(mail) info@u-grandma.jp（電話番号）0895-22-0326

事業名：第2回宇和島NPOまつり

■事業目的

【事業目的】

宇和島市に登録しているNPO団体の活動を知ってもらうこと、NPO団体同士の連携・協働できる関係性を築く。また昨年度参加できなかった団体にも参加してもらい、新しい交流、繋がりを目指し団体同士で相乗効果が期待できる活動を行うことを目的とする。

■事業期間・総事業費・補助金等

【事業期間】

令和5年11月9日～令和5年12月27日

【総事業費】

500,083円

【補助金交付決定額】

500,000円

【補助率】

特任事業（10/10）※上限500,000円

■事業内容・成果

【取組内容】

第2回目となる「うわじまNPOまつり」を2023年12月10日に開催した。今回は新しく登録された団体の方も多く出展され、20団体が宇和島商店街で自団体の活動の紹介を行った。来場者は約400名（団体、ボランティア含む）

今回は宇和島商店街とコラボし、スタンプラリー抽選景品は真珠等商店街店舗で購入したもののや鯛めしセット、かまぼこ、みかんもあり充実したものだ。宇和島市のトイレカーも2台設置し、商店街店舗のトイレも借りることができ、前回での課題解決にも工夫した。

【成果】

それぞれの団体の取り組みを紹介する工夫ができた。NPO団体同士でブースを回っていただき、ますます横の繋がりが充実した。



団体名・連絡先

【団体名】

特定非営利活動法人宇和島NPOセンター

【団体連絡先】

(mail) info@uwajima-npo-center.jp（電話番号）0895-49-3563

事業名：フードドライブ事業

■ 事業目的

【事業目的】

家庭等で余っている食品を持ち寄っていただき、それを必要としている子ども食堂での活用や福祉団体等へ寄付など、資源を有効活用しながら生活に困っている家庭を支援しようというもの。

■ 事業期間・総事業費・補助金等

【事業期間】

令和5年11月11日～令和5年12月31日

【総事業費】

160,000円

【補助金交付決定額】

106,000円

【補助率】

一般事業 (2/3)

■ 事業内容・成果

【取組内容】

市民の方々から広く支援をいただく方法として「もったいないからありがとう」を合言葉に、環境に配慮しながら、少しでも資源を有効活用するためのフードドライブ活動を行った。活動当日は県内のフードドライブの状況や、市内の子ども食堂について学べるパネルを展示。種類ごとにコンテナへ分類整理し、一時保管した後各支援団体へ分配していく。昨年に続き、市内の中学校生徒有志が参加。

きさいや広場フードドライブ

<集まった食品>

11/11(土)：264個・・・72.2kg

11/12(日)：315個・・・85.5kg 2日間合計 579個・・・157.7kg

【成果】

週末のきさいや広場は買い物客も多く、市民のみなさんにフードドライブ活動を知っていただき若い世代にも広がりを感じた。食品ロスをなくそう！という意識が高まった。



団体名・連絡先

【団体名】

宇和島市子ども食堂連絡協議会

【団体連絡先】

(mail) uwajimashikodomoosyokudourk@gmail.com (電話番号) 090-7623-3773

事業名：青空クッキングパエリア作り

■ 事業目的

【事業目的】

イベント「奥南のコト」で行っていたパエリア作りを小学校の青空クッキングで行い、地元食材の豊かさを感じてもらう。
小学生、先生、保育園児、地元の方で囲んで食べ、令和7年にはなくなってしまう小学校を見据えて新たなコミュニティの場づくりを目指す。

■ 事業内容・成果

【取組内容】

10月31日（火）、奥南小学校グラウンドを会場として青空クッキングを開催。参加者は小学生、教員、保護者、関係者含め62名。小学生が育てたさつまいもと地元食材を外部講師とともに小学生が調理しパエリアを作る。外部講師は旅する料理人として活動している三上奈緒さん。講師の三上さんには調理のほかに、地元食材が豊富にあること、それを食べられる幸せなど食の大切さを参加者に講義していただいた。

【成果】

小学生に対して地域ぐるみの食育と地元への関心、地域の方の小学校への関心を深めることができた。また新たなコミュニティの場づくりとなった。

■ 事業期間・総事業費・補助金等

【事業期間】

令和5年10月30日～令和5年11月30日

【総事業費】

195,000円

【補助金交付決定額】

146,000円

【補助率】

開設・拡大事業（3/4）



団体名・連絡先

【団体名】

NPO法人奥南でざいんセンター

【団体連絡先】

(mail) atsum@gmail.com（電話番号）090-7623-3773